

平成27年度 赤穂高等学校(全日制) 学校評価

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）
憲法及び教育基本法に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。	1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を發揮できるよう努力する。
	今年度目標
	(1)人権意識を高め、挨拶、清掃から始まり部活動や生徒会活動などを集団として協力し合い、他人のため社会のために自分の力を使うことのできる社会人の育成に努める。
	(2)生徒が学ぶことを楽しみ、向上心をもって学べる授業作りに、全職員が協力して取り組み、体罰やいじめのない安全・安心な「風通しのよい」学校を作る。また、普通科、商業科、それぞれの特色を活かし、生徒の潜在能力を引き出すために、下支えとともに上に引き上げる工夫を行う。
	(3)学校創立100周年を目前として、地域に根ざし、地域から愛される学校となるよう、生徒会、PTAと力を合わせ開かれた学校作りを進める。

領域	対象	評価項目	評価の観点	
教育活動	教育課程	入試動向を見据えた教育課程の改訂を行う。	入試動向に関する情報を精査し、本校生徒の実情に合致した教育課程を編成できたか。	
	進路指導	進路指導	(1)主体的な進路選択と個に応じた進路実現の支援 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化	(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。
		キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	キャリア教育の推進ができたか。
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現を目指す生徒の育成を図る。	(1)人権平和教育について、生徒職員への啓発ができたか。 (2)実施時期、内容は適切であったか。 (3)各学年、係等との連携が図れたか。	
	図書	(1)楽しく、豊かな読書体験の環境を整える。 (2)教科や係と連携して、主体的な学習の援助を行う。	(1)新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2)生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。	
	視聴覚	(1)芸術鑑賞(音楽鑑賞)を通じて、芸術に触れる姿勢や態度の育成を図る。 (2)情報モラル教育を推進する。	(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2)教科(情報を中心とする)や特別活動を通じて、情報モラル教育を推進できたか。	
	生徒指導	(1)挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2)マナー・モラルの推進を図る。 (3)安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4)人権教育の推進を図る。	(1)身だしなみや挨拶に自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に毅然とした対応ができたか。	
	教育相談	(1)心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)いじめが起こらないような体制を作る。 (3)学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (4)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会としっかり連携がとれたか。 (2)生徒への啓蒙活動や情報の収集ができたか。 (3)生徒の状況把握がしっかりできたか。 (4)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	
	生徒会	(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3)地域やPTAとの連携。	(1)生徒会活動を通じて成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率、および活動実態はどうであったか。 (3)地域やPTAとの交流の機会を積極的にもつことができたか。	
	美化	(1)校舎内外の美化。 (2)ゴミの分別の徹底。	日々の清掃活動およびゴミの分別やその周知が適切に行われたか。	
保健	(1)健康教育の充実。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1)健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。		
学校運営	教務	庶務	(1)本校教育活動の円滑な運営 (2)100周年記念事業実行委員会と連携し、事業計画の充実を図る。	(1)諸行事の計画段階で、昨年の反省を活かすことができたか。 (2)100周年記念事業に、教職員や生徒が積極的に関わることができたか。
		広報・情報	(1)情報発信の際、学校を地域に開くことを意識して行う。なかでも創立100周年をアピールするためにもホームページを活用する。 (2)ネットワークの更新を前に、サーバー内のファイルの整理を進める。	(1)新たに、クラブ活動、生徒会活動、100周年に関するホームページの充実がなされたか。 (2)段階的にサーバー内のファイル整理を進めることができたか。
		防災	防災意識を高め、避難の方法・手続きの定着を図る。	防災意識を高めることで、避難訓練の状況は変化してきたか。
	予算施設	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。	
	学校運営検討	学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。	学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。	
	P T A	P T A活動の円滑な運営と多くの保護者の参加の促進	保護者と職員が協力して、生徒のための活動ができたか。	
	同窓会	創立100周年記念事業実施に向けて、準備を進める。	同窓生はもとより、教職員・生徒・保護者等、より大勢の力を結集するために話題提供に努めることができたか。	
	学校評議員会運営	学校評議員会を効果的に運営する。	学校評議員からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。	
	安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	